

令和4年10月27日

2～6年生保護者様

福岡市立弥永西小学校

校長 石松 あゆみ

色覚の簡易検査について

色覚(色の見え方)について、男子の約5%(20人に1人)、女子の約0.2%(500人に1人)の割合で、例えば赤系統の色と緑系統の色の見分けがつきにくいなど、先天的に他の人と異なる特性を有する例が見られます。色がまったく分からないというわけではなく、色によって見分けにくいことがある程度で、日常生活にはほとんど不自由はありません。しかし、状況によっては色を見誤って周囲から誤解を受けることや、色を使った授業の一部が理解しにくいことがあるため、学校生活では配慮が望まれます。

本人には自覚のない場合が多く、子どもが検査を受けるまで、保護者もそのことに気づいていない場合が少なくありません。治療によって改善するものではないとされていますが、授業を受けるにあたり、また職業・進路選択にあたり、自分自身の色の見え方を知っておくためにも色覚特性の有無を知ることは大切です。

以上をご理解いただき、簡易検査のご希望がある場合は、随時連絡帳等で、学級担任までお知らせください。